令和5年度(2023年度)用

小学校外国語科用

「NEW HORIZON Elementary」 年間指導計画作成資料 【6年】

令和元年(2019年)7月19日版

※単元ごとの配当時数,主な学習活動,評価規準などは,今後変更になる可能性があります。ご了承ください。

東京書籍

<u>ו</u>	…聞くこと 🤨…読むこと	: ②…話すこと[やりとり]	◎…語	すこと[多	後表] 🙋…書くこと 🍮…♬	聞くこと・話すこと[やりとり・発表]統合
月	単元名	単元の目標	時数		学習活動	観点別評価規準
4	Unit 1 This is me!	名前や好きなもの・こと,誕生日を発表することができる。	8	2 年代 (3) 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日 1 日	世界では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力では、大力	[知識・技能]
5	Unit 2 How is your school life?	世界の子供たちの日常生活を知り、自分たちの生活について伝え合うことができる。	8	(7) より は (3) は (4) は	見聴する。 表	解を深めようとしている。 [知識・技能] 世界の子供たちの日常生活 を知り、自分たちの生活についる。 世界の子自分たちのを表現の大 すに付けている。活字を理解し、文字を理解し、文字を理解し、文字を理解している。 [思考・判断・表現] 世界の子供たちの生活にいる。 世界の子供たちの生活に、状語のいなどに応じて、学習したけいなどに表現を選したけった。 など表現をして、伝え合っている。

	道徳,総合			(4)	②で書き溜めた文をも	
	是心,心口			4	とに「宝物紹介カード」	 [主体的に学習に取り組む態度]
					を作り, 発表する。 p. 30	「一回 回回 回回 回回 回回 回回 回回 回回
					に貼る。	他者に配慮しながら、主体的
				(5)		に、世界の子供たちの日常生
					語と日本語との違いに	活を知り、自分たちの生活に
					ついて考える。	一ついて伝え合おうとしてい
				(6)	韓国についての映像を	る。英語の音に慣れ親しみ,
					視聴する。	世界や日本についての理解
				7	最初の音が共通の単語	を深めようとしている。
					の音声を聞いたりして,	
					英語の音に慣れ親しむ。	
	Unit 3	行ってみたい国や地		1	世界の有名な建物や食	│ │[知識·技能] <mark>⑥</mark> ❷
	Offic 3	域と、その理由を説			べ物などの話や, それら	[知識・技能]
	Let's go to Italy.	明することができ			についてのクイズを聞	行ってみたい国や地域と, そ
	p.22~29	る。			く。また,旅行代理店の	の理由を説明する語句を身
					CMの音声などを聞く。	に付けている。活字体の大文
	◎学習指導要領			2	CMで分かったことを	字・小文字を理解し、例を参
	の内容:(1)ア・				友達とたずね合う。ま	考に説明したい文を書き写
	イ・ウ・エ, (2)ア・				た,世界の国と有名なも	している。
	イ, (3)①ア・イ・				のについてメモしたり,	
	ウ・エ・オ, ②ア・				たずね合ったりする。例	[思考・判断・表現]◎◎◎◎
	イ, 3(1)(2)(3)				を参考に伝えたい文を	 行ってみたい国や地域と, そ
6	 ★中心領域:聞く,				書き写したりする。	の理由を説明する目的や場
	話す[やり取り・			(3)	歌やチャンツ, ピクチャ	面,状況などに応じて,学習
	発表],読む,書				ーディクショナリーな	した語句や表現を選択した
	\ \				どを使いながら, 国, 様	り付け加えたりして、説明し
	,				子、食べ物、味などに関	ている。
			8		する語句や表現に慣れ	
	★他教科との関				親しむ。	 [主体的に学習に取り組む態度]
	連:社会,国語,			(4)	れ しむ。 ②で書き溜めた文をも	「工作的に子目に取り組む恋及」
	道徳,総合			4		
						他者に配慮しながら、主体的
					を作る。また,友達と協力してポスターを作っ	に、行ってみたい国や地域
						と、その理由を説明しようと
					て, 発表する。 p.31 に	している。英語の音に慣れ親
					貼る。	しみ、世界や日本についての
				(5)	世界遺産や、英語と日本	理解を深めようとしている。
					語との違いについて考	
7				_	える。	
′				6	オーストラリアについ	
					ての映像を視聴する。	
				7	最初の音が共通の単語	
					の音声を聞いたりして,	
					英語の音に慣れ親しむ。	
<u> </u>				1	77 HI 17 H 1 - 1944 VANI O 13 0	

	Check Your Steps 1 外国の人にメッセージを伝えよう。230~31 ②学習指導要領の内容: (1)ア・イ・ウ・エ、(2)ア・イ・ウ・エ・オ、②ア・イ・ウ・エ・オ、②ア・イ・ウ・エ・オ、3(1)(2)(3) ★中心領域:話す [発表]	外国の人にメッセージを伝えることができる。	2	1	児童が知っている外国 の人にメッセージを伝 えるという想定で、その 人の説明や感想なジカー ドを作り、スピーチをす る。	[知識・技能] 外国の人にメッセージを伝習した。 の人にメッセージを伝習した。 に思考・判断・表現] 外国のといのは、 の人にが表現を使った。 のののでは、 の人にがいる。 のののでは、 の人にがいる。 ののでは、 のののでは、 ののでは、
9	Unit 4 Summer Vacations in the World p.34~41 ◎ 学習指導要領 の内容: (1)ア・ イ・ウ・エ, (2) ア・イ, (3)① ア・イ・ウ・エ・ オ, ②ア・イ, 3 (1)(2)(3) ★中心領域:聞く, 話す[やり取り・ 発表], 読む,書 く	世界の夏休みの過ごし方を知り、自分の思い出を紹介することができる。	8	3	ーディクショナリーなどを使いながら、したこと、自然、食べ物、デザート、様子、に関する語句や表現に慣れ親しむ。②で書き溜めた文をもとに「夏休みの記録メモ」を作り、発表する。p.60に貼る。	[知識・技能] ● 世界の夏休みの過ごし方を知り,自分の思い出を紹介する語句や表現を身に付けている。活字体の大文字・小文字を理解し,例を参考に紹介したい文を書き写している。 [思考・判断・表現] ● ● ● ● □ ● ● □ ● □ ● □ ● □ ● □ ● □ ●
10	★他教科との関連:社会, 国語, 道徳, 総合			(5) (6) (7)	世界の夏休みや, 英語と 日本語との違いについ て考える。 アメリカについての映 像を視聴する。 最初の音が共通の単語 の音声を聞いたりして, 英語の音に慣れ親しむ。	●●②③ 他者に配慮しながら,主体的に,世界の夏休みの過ごし方を知り,自分の思い出を紹介しようとしている。英語の音に慣れ親しみ,世界や日本についての理解を深めようとしている。

	Unit 5	地球に暮らす生き物		1	地球に暮らす生き物が	[6 = 24h
	We all live on	について考え, その			どこで暮らし, 何を食べ	[知識・技能]
	the Earth.	つながりを発表する			ているのかなどについ	地球に暮らす生き物につい
	p.42~49	ことができる。			ての話を聞く。	て考え, そのつながりを発表
	│ │ ◎ 学習指導要領			2	生き物がどこで暮らし,	する語句や表現を身に付け
	の内容:(1)ア・				何を食べているのかな	ている。活字体の大文字・小
	イ・ウ・エ, (2)				どについて友達とたず	文字を理解し、例を参考に発
	ア・イ, (3)①				ね合ったり, 巻末絵カー	表したい文を書き写してい
	ア・イ・ウ・エ・				ドを置いたりする。例を	る。
	オ, ②ア・イ, 3				参考に伝えたい文を書	│ │[思考・判断・表現] ^⑤ ◎◎
	(1)(2)(3)				き写したりする。	[芯方・刊断・衣玩]
	(1)(2)(0)			3	歌やチャンツ, ピクチャ	地球に暮らす生き物につい
	★中心領域:聞く,				ーディクショナリーな	て考え, そのつながりを発表
	話す[やり取り・発				どを使いながら, 海の生	する目的や場面,状況などに
	表〕、読む、書く				き物、自然、からだ、動	応じて,学習した語句や表現
			8		物、虫に関する語句や表	を選択したり付け加えたり
	★他教科との関				現に慣れ親しむ。	して、発表している。
	連:理科,国語,			4	②で書き溜めた文をも	
	社会,道徳,総				とに「フードチェインカ	[主体的に学習に取り組む態度]
	合				ード」を作った上で,グ	
					ループで食物連鎖のポ	他者に配慮しながら, 主体的
					スターを作り、発表す	に、地球に暮らす生き物につ
					る。 p.60 に貼る。	いて考え, そのつながりを発
				5	環境や、英語と日本語と	表しようとしている。英語の
4.4					の違いについて考える。	音に慣れ親しみ,世界や日本
11				6	ブラジルについての映	についての理解を深めよう
					像を視聴する。	としている。
				7	単語の音声を聞いて,単	
					語を書いたり, 絵に合う	
					文字を線で結んだりし	
					て英語の音に慣れ親し	
					む。	

	11-7-6	各社が深いマ ^{川田の}		(I)	※担し肺があった 4 で	
	Unit 6	食材を通じて世界の		(I)	登場人物が食べたもの	[知識•技能]
	Let's think	つながりを考え、メ			や産地、栄養素のグルー	
	about our food.	ニューを発表することができる。		<u></u>	プについての話を聞く。	食材を通じた世界のつながりを考え,メニューを発表す
	p.50~59	とができる。			食べ物の産地や栄養素のグループについて,チ	りを与え, メーユーを完表 り る語句や表現を身に付けて
	◎学習指導要領				ラシや絵カードを使っ	いる。活字体の大文字・小文
	の内容:(1)ア・				て友達とたずね合った	字を理解し、例を参考に発表
	イ・ウ・エ,(2)				り、例を参考に伝えたい	したい文を書き写している。
	ア・イ, (3)①				文を書き写したりする。	
	ア・イ・ウ・エ・			(3)	歌やチャンツ, ピクチャ	[思考·判断·表現] ◎◎◎
	オ, ②ア・イ, 3				ーディクショナリーな	食材を通じた世界のつなが
	(1)(2)(3)				どを使いながら、食べ	りを考え, メニューを発表す
	 ★中心領域:聞く,				物, 食事, 食材, 果物,	る目的や場面, 状況などに応
	話す[やり取り・				野菜、に関する語句や表	じて, 学習した語句や表現を
	発表], 読む, 書				現に慣れ親しむ。	選択したり付け加えたりし
	<		8	4	②で書き溜めた文をも	て、発表している。
					とに「オリジナルカレー	
	★他教科との関				メモ」を作成する。また	[主体的に学習に取り組む態度]
	連:算数,社会,				グループで「オリジナル	
	保健,国語,家				カレー」を考えて発表す	他者に配慮しながら, 主体的
	庭,総合,道徳				る。 p.61 に貼る。	に、食材を通じて世界のつな
				5	外国から来る食べ物や,	がりを考え, メニューを発表
					英語と日本語との違い	しようとしている。英語の音
					について考える。	に慣れ親しみ,世界や日本に
				6	スイスについての映像	ついての理解を深めようと
					を視聴する。	している。
				(7)	単語の音声を聞いて,単	
					語を書いたり、絵に合う	
					文字を線で結んだりして本語の文は無い報り	
					て英語の音に慣れ親し	
	Ol I-	# 思し白八のへわぶ		(1)	む。 持ち物,動物,食べ物な	
	Check Your	世界と自分のつながりを発見して紹介す		1)	どの身の回りのものか	[知識∙技能]🍛
	Steps 2	ることができる。			ら世界と自分のつなが	世界と自分のつながりを発
	世界と自分のつ	3 C C M C C O O O			りをさがしてポスター	見して紹介するスピーチに
	ながりを紹介し				を作り、スピーチをす	おいて、学習した語句や表現
	よう				る。	を使っている。
	p.60~61				30	
						[思考·判断·表現] 🥯
	◎学習指導要領					世界と自分のつながりを発
	の内容:(1)ア・		2			見して紹介するスピーチの
	イ・ウ・エ, (2)					目的や場面, 状況などに応じ
12	ア・イ, (3)①					て, 学習した語句や表現を選
	ア・イ・ウ・エ・ オ, ②ア・イ, 3					択したり付け加えたりして,
	オ、②ア・1、3 (1)(2)(3)					スピーチをしている。
	(1)(2)(3)					
	★中心領域:話す					[主体的に学習に取り組む態度]
	[発表]					
						他者に配慮しながら, 主体的
						に世界と自分のつながりを

						発見して紹介するスピーチ
						をしようとしている。
	Unit 7	小学校生活の思い出		1	登場人物や世界の子供	│ │ [知識·技能] <mark>⑩❷</mark>
	My Best	を伝え合うことがで			たちの小学校生活の思	[知識・技能]
	Memory	きる。			い出や学校行事につい	小学校生活の思い出を伝え
	p.64~71				ての話を聞く。	合う語句や表現を身に付け
				2	学校行事や修学旅行で	ている。活字体の大文字・小
	◎学習指導要領				したこと, 楽しんだこと	文字を理解し、例を参考に伝
	の内容:(1)ア・				などについてたずね合	え合いたい文を書き写して
	イ・ウ・エ, (2)				ったり, 例を参考に伝え	 いる。[思考・判断・表現] [◎]
	ア・イ, (3) ①				たい文を書き写したり	
	ア・イ・ウ・エ・				する。	
1	オ, ②ア・イ, 3			3	歌やチャンツ, ピクチャ	小学校生活の思い出を伝え
	(1)(2)(3)				ーディクショナリーな	合う目的や場面, 状況などに
	 ★中心領域:聞く,				どを使いながら, 学校行	応じて,学習した語句や表現
	話す[やり取り・				事, したこと, 建物など,	を選択したり付け加えたり
	発表], 読む, 書		8		動作などに関する語句	して、伝え合っている。
	<			_	や表現に慣れ親しむ。	
	·			4	②で書き溜めた文をも	[主体的に学習に取り組む態度]
	★他教科との関				とに「アルバムシート」	
	連:社会, 国語,				を作り,グループで紹介	他者に配慮しながら,主体的
	道徳,総合				し合う。 p. 80 に貼る。	に,小学校生活の思い出を伝
				(5)	世界の学校生活や、英語	え合おうとしている。英語の
					と日本語との違いにつ	音に慣れ親しみ,世界や日本
					いて考える。	についての理解を深めよう
				(6)	ガーナについての映像	としている。
2					を視聴する。	
				(1)	最初の音が二文字で一	
					つの音になる単語の音	
					声を聞いたりして, 英語	
					の音に慣れ親しむ。	

	I I it 0	山亭松上江夕原本に		1	小学生と中学生の登場	
	Unit 8 My Future,	中学校生活や将来に ついて考え,夢を発		(I)	小字生と中字生の登場 人物の,中学校生活や将	[知識・技能]
	My Dream	表することができ			来の夢についての話を	 中学校生活や将来について
	p.72~79	る。			聞く。	考え、夢を発表する語句や表
	p./2.9/9 ◎学習指導要領	る。		(2)	中学校で楽しみたい学	現を身に付けている。活字体
	の内容:(1)ア・				校行事や入りたい部活	の大文字・小文字を理解し、
	イ・ウ・エ, (2)				動、得意なこと、将来な	例を参考に発表したい文を
	ア・イ. (3) ①				動, 特息なこと, 初末なりたい職業などについ	書き写している。
	ア・イ・ウ・エ・				てたずね合ったり、例を	
	オ, ②ア・イ, 3				参考に伝えたい文を書	[思考·判断·表現] ◎◎◎
	(1)(2)(3)				き写したりする。	 中学校生活や将来について
				(3)	歌やチャンツ, ピクチャ	考え,夢を発表する目的や場
					ーディクショナリーな	面,状況などに応じて,学習
	★中心領域:聞く,				どを使いながら, 部活動	した語句や表現を選択した
	話す[やり取り・		_		や学校行事,動作など,	り付け加えたりして、発表し
	発表], 読む, 書		8		教科、職業、に関する語	ている。
	<				句や表現に慣れ親しむ。	
				4	②で書き溜めた文をも	[主体的に学習に取り組む態度]
	★他教科との関				とに「夢宣言カード」を	
	連:社会,国語,				作り,スピーチをする。	他者に配慮しながら, 主体的
	道徳,総合				p.81 に貼る。	に, 中学校生活や将来を考
				5	世界とつながる仕事や、	え,夢を発表しようとしてい
					英語と日本語との違い	る。英語の音に慣れ親しみ、
					について考える。	世界や日本についての理解
				6	サウジアラビアについ	を深めようとしている。
					ての映像を視聴する。	
				7		
					含む単語の音声を聞い	
					たりして, 英語の音に慣れぬした。	
	Check Your	クラスのみんなに寄	2		れ親しむ。 卒業記念としてクラス	
	Steps 3	せ書きのメッセージ		(I)	中来に必としてケッスのみんなに伝えたいメ	[知識・技能]ὧ
	Steps 3 寄せ書きのメッ	を伝えることができ			ッセージを寄せ書きに	寄せ書きのメッセージを伝
	セージを伝えよ	る。			書く。	えるスピーチにおいて,学習
	う	90		(2)	メッセージを紹介する	した語句や表現を使ってい
	p.80~81				スピーチをする。	3.
	· ◎学習指導要領					
	の内容:(1)ア・					[思考・判断・表現]ీ
	イ・ウ・エ,(2)					寄せ書きのメッセージを伝
	ア・イ, (3) ①					えるスピーチの目的や場面,
	ア・イ・ウ・エ・					状況などに応じて, 学習した
3	オ, ②ア・イ, 3					語句や表現を選択したり付
	(1)(2)(3)					け加えたりして、スピーチを
						している。
	★中心領域:話す					
	[発表]					[主体的に学習に取り組む態度]
						他者に配慮しながら,主体的
						に寄せ書きのメッセージを
						伝えるスピーチをしようと

		している。